

# 第1回日玖統合医療シンポジウム

— 社会の高齢化と災害を生き抜き、持続可能な社会を創るために —

## 【背景】

日本は、世界最先端の超少子高齢・人口減少社会が進展し、社会の高齢化が問題となっている。日本国民の疾病構造も感染症などの急性疾患から、生活習慣病(がん、糖尿病、高血圧、脂質異常症)などの慢性疾患へと変化し、高騰を続ける国民医療費の観点からも、Cure(治療)を目指す医療から、疾病予防・健康増進を中心とし、QOL(生活の質)を高める、Care(ケア)を目指した医療へと移行してきている。このような時代の変化に伴い、厚生労働省は、地域包括ケアシステムの施策を打ち出し、全国の自治体に地域の資源を活用した地域包括ケアシステムの構築の急務を求めている。しかし、各自治体では従来の近代西洋医学による治療を中心とした医療や既存の介護福祉サービスに捕らわれ、多くは地域の資源を上手く活用できず模索状態が続いている。また、東日本大震災及び熊本地震による甚大な被害は、今後、高い確率で予想されるネクストクライシス(南海トラフ巨大地震や首都直下型地震など)への多面的な備えの重要性を示しており、災害支援を含めた地域包括ケアシステムを検討すべき時期に来ている。

一方、キューバ(玖瑪)では、1991年のソ連崩壊に伴う経済危機により、国家財政が逼迫し近代西洋医学による治療を中心とした医療政策から、近代西洋医学と伝統医学や相補・代替医療を併用した統合医療による疾病予防・健康増進を中心とした医療政策へと移行した。WHOによれば、キューバは現在、疾病予防・健康増進を担うプライマリ・ヘルスケア(一次医療)が世界で最も整備され、統合医療による独自の医療政策が展開されていると報告されている。その成果は、キューバ国民の健康寿命の延伸はもとより、バイオテクノロジーによる創薬やワクチン開発、医療・健康機器の開発、医療・健康ツーリズムなどの産業振興にも活用されている。また、国内外の災害医療支援にも用いられ、キューバ独特の医療外交においても国益に寄与している。キューバは、統合医療先進国として世界的に高い評価を得ている。しかし、キューバにおいても、日本同様、今後の社会の高齢化とハリケーンや地震などの災害が問題となっている。

以上から、日本統合医療学会ではキューバの医療に注目し、2013年に開催された第17回日本統合医療学会にて、Dr. Johann Perdomo Delgado(キューバ共和国公衆衛生省自然伝統医学局局長)を迎え、海外招聘講演「キューバ — 知られざる統合医療先進国 —」を企画した。これを契機に、昨年10月、日本統合医療学会から使節団をキューバへ派遣し、キューバ科学アカデミーに加盟するキューバ生体エネルギー・自然医療学会と日本統合医療学会との間で包括的学術協定締結のための協議が行われた。その結果、両学会間での合意と協定締結書(案)が得られ、2017年に日本でキューバ政府ならびに統合医療関係者数名を招聘し、日本統合医療学会とキューバ生体エネルギー・自然医療学会による包括的学術協定締結の調印式を兼ねた、統合医療に係る「日玖統合医療シンポジウム」の開催が確認された。また、当使節団のキューバ渡航直前に、日本国内閣総理大臣がキューバを訪問し、CTやMRIなどの医療機器による支援を確約した。統合医療には医用生体工学や再生医学などの先端医療技術の知見も含まれるため、両国政府の外交政策も踏まえ、それらと連動した形で、統合医療による国際的学術交流の推進を図ることとなった。

## 【目的】

日本国とキューバ共和国の統合医療に係る学術交流を推進するための環境を整備し、両国の学術交流の振興を図るために、日本統合医療学会とキューバ生体エネルギー・自然医療学会による包括的学術協定締結のための調印式を東京で行う。これを記念し、東京及び京都にて両国の有識者による「第1回日玖統合医療シンポジウム」を開催する。本シンポジウムでは、統合医療を通じて、国民の福利厚生を保持する持続可能な社会に奉仕し、持続可能な医療・介護福祉の実現を目指し、両国に共通する社会の高齢化や災害などの社会的課題の解決に努めるための議論を深めることが目的である。

## 【開催形式】

東京と京都で、日本とキューバの有識者によるシンポジウム形式で開催(参加費:無料、事前申し込み:不要)。  
◇ 但し、日本統合医療学会とキューバ生体エネルギー・自然医療学会による包括的学術協定締結のための調印式は、東京での本シンポジウム開催の際に行う。

## 【日時】

東京:平成29(2017)年7月15日(土)11:00~18:00

京都:平成29(2017)年7月17日(月:祝日:海の日)12:30~18:00

## 【会場】

東京:東京大学 医学部教育研究棟14階 鉄門記念講堂

京都:京都大学 ころの未来研究センター本館(稲盛財団記念館)3階 大会議室

## 【参加予定者数】

東京:先着300名

京都:先着200名

## 【招聘者】

Dr. Concepción Campa Huergo(ハバナ大学名誉博士、キューバ共和国科学アカデミー上級会員)

Dr. Johann Perdomo Delgado(キューバ共和国公衆衛生省自然伝統医学局局长)

Dr. Magaly Victoria Carrero Figueroa(キューバ共和国生体エネルギー・自然医療学会副会長)

Dr. Eva Caridad Apodaca Pérez(キューバ共和国国立公衆衛生大学院災害医学・伝統医学准教授)

## 【主催】

一般社団法人日本統合医療学会

## 【後援】

キューバ共和国大使館、京都府、京都市、京都大学ころの未来研究センター、日本キューバ経済懇話会、関西経済連合会、他

## 【問い合わせ先】

一般社団法人日本統合医療学会

「第1回日玖統合医療シンポジウム」実行委員会 事務局 E-mail: miraisyakai2014@gmail.com

## 【懇談会】(参加費:有料、事前申し込み:必要)

東京:平成29(2017)年7月15日(土)18:30~20:30

会場:レストラン御殿(東京大学山上会館地下1階)

京都:平成29(2017)年7月17日(月:祝日:海の日)18:30~20:30

会場:フレンチレストラン La Tour (京都大学百周年時計台記念館1階)

◇ 参加費¥5,000(当日徴収)、東京及び京都の各会場共、先着100名限定

◇ 懇談会参加希望者は、参加申し込み必要事項(氏名、所属機関、所属部署、役職、電話番号、メールアドレス)を明記の上、懇談会参加申し込み締め切り日(2017年6月26日(月))までに、「第1回日玖統合医療シンポジウム」実行委員会事務局(E-mail: miraisyakai2014@gmail.com)まで、メールにてお申し込み下さい。

# 「第1回日玖統合医療シンポジウム」in東京プログラム 平成29(2017)年7月15日(土)

## 【会場】

東京大学 医学部教育研究棟14階 鉄門記念講堂

## 【受付】

10:30～

## 【開会の辞】

11:00～11:05 主催者挨拶

11:05～11:35 来賓挨拶

## 【学術協定調印式】

11:35～12:00 調印式

- 調印者:仁田新一(日本統合医療学会)
- 調印者:Dr. Magaly Victoria Carrero Figueroa(キューバ共和国生体エネルギー・自然医療学会)

12:00～13:00 休憩:60分間

## 【シンポジウム】(参加費:無料、事前申し込み:不要、先着300名)

(各講演時間:キューバ側30分、日本側20分)

司会:和田雄志(未来工学研究所)

13:00～13:50 **演題1. 統合医療の研究状況**

- 座長:菊地 眞(医療機器センター)
- 演者:Dr. Concepción Campa Huergo(ハバナ大学名誉博士)
- 演者:大野 智(大阪大学大学院医学系研究科)

13:50～14:40 **演題2. 政策に於ける統合医療**

- 座長:長谷川敏彦(未来医療研究機構)
- 演者:Dr. Johann Perdomo Delgado(キューバ共和国公衆衛生省自然伝統医学局)
- 演者:堀 裕行(厚生労働省医政局総務課統合医療企画調整室)

14:40～14:50 休憩:10分間

14:50～15:40 **演題3. 社会の高齢化と統合医療**

- 座長:川嶋みどり(健和会臨床看護学研究所)
- 演者:Dr. Magaly Victoria Carrero Figueroa(キューバ共和国生体エネルギー・自然医療学会)
- 演者:葛西龍樹(福島県立医科大学医学部地域・家庭医療学講座)

15:40～16:30 **演題4. 災害と統合医療**

- 座長:後藤修司(東京衛生学園専門学校)
- 演者:Dr. Eva Caridad Apodaca Pérez(キューバ共和国国立公衆衛生大学院)
- 演者:小早川義貴(国立病院機構災害医療センター)

16:30～16:40 休憩:10分間

16:40～17:50 **総合討論**

- 座長:伊藤壽記(大阪がん循環器病予防センター)、小野直哉(未来工学研究所)
- 指定発言者:佐藤喜久二(総合防災ソリューション、茅ヶ崎市防災担当参与)

## 【閉会の辞】

17:50～18:00 主催者挨拶

## 【懇談会】(参加費:有料、事前申し込み:必要、先着100名)

18:30～20:30 レストラン御殿(東京大学山上会館地下1階)

◇ 参加費¥5,000(当日徴収)

◇ 懇談会参加希望者は、参加申し込み必要事項(氏名、所属機関、所属部署、電話番号、メールアドレス)を明記の上、懇談会参加申し込み締め切り日(2017年6月26日(月))までに、「第1回日玖統合医療シンポジウム」実行委員会事務局(E-mail: miraisyakai2014@gmail.com)まで、メールにてお申し込み下さい。

# 第1回日玖統合医療シンポジウム」in京都プログラム 平成29(2017)年7月17日(月:祝日:海の日)

## 【会場】

京都大学 こころの未来研究センター本館(稲盛財団記念館)3階 大会議室

## 【受付】

12:00～

## 【開会の辞】

12:30～12:35 主催者挨拶

12:35～13:00 来賓挨拶

## 【シンポジウム】(参加費:無料、事前申し込み:不要、先着200名)

(各講演時間:キューバ側30分、日本側20分)

司会:板村論子(統合医療アール研究所)

### 13:00～13:50 演題1. 統合医療の研究状況

- 座長:平井みどり(神戸大学名誉教授)
- 演者:Dr. Concepción Campa Huergo(ハバナ大学名誉博士)
- 演者:伊藤壽記(大阪がん循環器病予防センター)

### 13:50～14:40 演題2. 政策に於ける統合医療

- 座長:長谷川敏彦(未来医療研究機構)
- 演者:Dr. Johann Perdomo Delgado(キューバ共和国公衆衛生省自然伝統医学局)
- 演者:広井良典(京都大学こころの未来研究センター)

14:40～14:50 休憩:10分間

### 14:50～15:40 演題3. 社会の高齢化と統合医療

- 座長:山本竜隆(朝霧高原診療所)
- 演者:Dr. Magaly Victoria Carrero Figueroa(キューバ共和国生体エネルギー・自然医療学会)
- 演者:佐藤裕見子(明治国際医療大学看護学部看護学科)

### 15:40～16:30 演題4. 災害と統合医療

- 座長:高橋 徳(ウイスコンシン医科大学)
- 演者:Dr. Eva Caridad Apodaca Pérez(キューバ共和国国立公衆衛生大学院)
- 演者:諫山憲司(広島国際大学保健医療学部医療技術学科)

16:30～16:40 休憩:10分間

### 16:40～17:50 総合討論

- 座長:伊藤壽記(大阪がん循環器病予防センター)、小野直哉(未来工学研究所)
- 指定発言者:中山健夫(京都大学大学院医学研究科)

## 【閉会の辞】

17:50～18:00 主催者挨拶

## 【懇談会】(参加費:有料、事前申し込み:必要、先着100名)

18:30～20:30 フレンチレストラン La Tour (京都大学百周年時計台記念館1階)

◇ 参加費 ¥5,000(当日徴収)

◇ 懇談会参加希望者は、参加申し込み必要事項(氏名、所属機関、所属部署、役職、電話番号、メールアドレス)を明記の上、懇談会参加申し込み締め切り日(2017年6月26日(月))までに、「第1回日玖統合医療シンポジウム」実行委員会事務局(E-mail: miraisyakai2014@gmail.com)まで、メールにてお申し込み下さい。